

上海市の60歳以上の高齢者人口は20万3000人増加した388万人に、高齢化率は27・1%に達しました。80歳以上では71万6000人になりました。

このような上海の高齢化に対し、政府は養老サービスの発展を加速させる方向性を示しています。養老サービスを促進させていくために、土地や補助金、融資等の整備を緊急課題として挙げています。

これは上海户籍人口なの上海全人口約2500万人から考えるとちょっと数字は跳ね上がります。中国全土の60才以上の高齢者人口は2億人を突破していません。

中国の高齢化の特徴として①スピードの速さ②規模5級、4級、栄養管理士2

の大きさ(沿岸と内陸、都市と農村)③未富先老(豊かになる前に高齢社会になる)④社会保障制度が未整備⑤独居家庭の急増などがあります。

介護の課題としては、①施設やサービスが十分に整備されていない②在宅介護中心のサービスを提供③介護保険制度の導入④人材不足と介護知識の低さがあります。

◆◆◆
中国では約1200万人の介護人材が不足しているといわれています。中国介護人材育成事業を行う弊社現地法人慧智源養老服務(上海)有限公司では先日、養老護理員(ヘルパー資格)

5級、4級、栄養管理士2

介護 B i z

級の合格式を行いました。

養老護理員5級の研修期間は170時間、研修費用は1360元、4級の研修期間は150時間、研修費用は1400元で合格者には研修費用の半額が政府から補助金として支給されます。

◆◆◆
す。今回は40名ほどの合格者を輩出しました。

中国ではある社区では養老サービスへの補助金制度の整備も徐々にすすめています。弊社が拠点としている地域では、養老施設(民間老人ホーム)新設時には一時金として1床につき5000元~24000元、デイサービス開業時には2

す。

高齢化に追い付かない介護サービス

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

~介護・不動産事業の行方~

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

0000元~50000元、賃貸でデイサービスを運営する場合は年間20000元~500000元の補助金が支給されます。日本のように中国では介護保険が未整備のため、高級老人ホーム以外の介護施設の運営は、まだまだ補助金に頼らざるを得ないのが現状です。